

	評価項目	適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1	課題	今後の改善策	特記事項
教育 目標 理念	①学校の理念・目的・育成人材像は定められているか(専門分野の特性が明確になっているか)	4	・専門学校としての理念・学校目標は明確なものになっており、生徒・保護者への周知は行われているが、業界とのコミュニケーションを深め、時代のニーズに合った教育をいっそう推進する必要がある。 ・業界のニーズを知る機会が少ない。	・教職員には会議、生徒についてはホームルームや日々の指導の中で、業界の現状と学校教育に求められるものは何かを話し合っている。 ・企業を呼んでニーズを知る。(企業説明会を増やす)	入学式で保護者に対して本校の教育目標・理念等を説明する場を設けている。
	②社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱えているか	3			
	③学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが生徒・保護者等に周知されているか	3			
	④各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	3			
学校 運営	①目的等に沿った運営方針が策定されているか	4	・専門職に特化した教員が多く、全体的な視野で学校運営を考えている教員を強化する。 ・教職員の勤務状態の改善は進められているが、まだ十分ではない。 ・学校全体の運営を理解できていない。 ・情報共有が少ない。 ・教職員の勤務状態の改善。	・総合職に必要な知識の習得機会(自己啓発含む)を設け、常に情報共有を行い、全体的な視野を養う機会を増やす。 ・教職員の勤務状態改善の継続。 ・少人数で運営しないといけいないので全体を把握できる勉強会実施。 ・助手・事務職員の増員。 ・振休等の取得義務化。	最低でも毎月1回は教職員会議を開催。
	②事業計画に沿った運営方針が策定されているか	4			
	③運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	3			
	④人事、給与に関する制度は整備されているか	3			
	⑤教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	4			
	⑥業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	3			
	⑦教育活動に関する情報公開が適切になされているか	3			
	⑧情報システム化等による業務の効率化が図られているか	3			
教育 活動	①教育理念に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	3	・外部との連携や教職員の資質向上に関する体制構築。 ・授業及び実習先評価の精度向上と教育への反映。 ・生徒の授業評価が教員の授業改善につながっていない面がある。 ・保護者への周知が少ない。 ・職員の能力開発のための研修に参加する時間が確保できない。	・教職員の校務状況を精査しながら外部との連携に取り組み環境を整備。 ・情報の共有を会議や研修で行い、自己啓発に努めていく。 ・有意義な研修に積極的に参加し、成果を他の教員に還元するシステムを作る。 ・成績、学校生活等を文書にして保護者へ連絡。(前・後期の2回) ・研修への参加(主に介護食、カフェリエーター)など本校で行う講座を行うために必要な資格を取得。	特になし。
	②目標の設定として、教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた教育機関として各学科の教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	3			
	③学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	3			
	④関連分野の企業・関係施設等、業界団体等の連携により、カリキュラムの教育方法の工夫・見直し等が行われているか	3			
	⑤関連分野における実践的な職業教育(産学連携によるインターシップ、実技、実習等)が体系的に位置づけられている	3			
	⑥授業評価の実施・評価体制はあるか	3			
	⑦職業に関する外部関係者からの評価を取り入れているか	3			
	⑧成績評価、単位認定の基準は明確になっているか	3			
	⑨資格(免許)取得の指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	3			
	⑩人事育成目標に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保し、組織できるか	3			
	⑪関連分野における業界等との連携に於いて優れた教員(本務・兼務含め)の提供先を確保するなどマネジメントが行われているか	3			
	⑫関連分野における先端的な知識・技能等を習得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか	2			
	⑬職員の能力開発のための研修等が行われているか	2			
学修 成果	①就職率の向上が図られているか	3	・悩みを持つ生徒の増加に伴う対応の鈍化。 ・就職に対する意識・意欲低下への対応。 ・卒業後の十分な還元。 ・入学直後からの就活開始ができていない。 ・就職に対する意欲低下への対応。	・生徒面談を強化し、個々の状況を理解する機会を増やし、対応を迅速化する。 ・国家試験(製業衛生師)対策を計画的に行う。 ・4月から企業説明会を実施する。 ・早期の個人面談実施。	you
	②資格(免許)取得率の向上が図られているか	3			
	③退学率の低減が図られているか	3			
	④卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	3			
	⑤卒業時に学校に対する満足度調査を行い、その結果を次年度の教育活動に活かしているか	3			
学生 支援	①進路・就職に関する支援体制は整備されているか	3	・卒業生への就職支援の強化。 ・心理面からくる不安定な生徒への対応。 ・ヤングハローワークの巡回相談の利用者が少ない。 ・スクールカウンセラーの利用が少ない。 ・求人票の早めの公開を行う。 ・職員の情報の共有化。	・担任を含む教職員全員に生徒指導における方針を常に理解し、実行していくことを促す。 ・校内にスクールカウンセラー(スクールソーシャルワーカー)設置。 ・ヤングハローワーク巡回相談、スクールカウンセラーを最初全員参加させる。 ・ADHDなどの発達障害の生徒の対応研修を実施する。 ・教職員全員で指導に取り組むようにする。	・9月より専門のスクールカウンセラーに週1回定期的に来てもらい効果をあげてきた。
	②生徒相談に関する体制は整備されているか	3			
	③生徒の経済的側面に対する支援体制は整備されているか	3			
	④生徒の健康管理を担う組織体制はあるか	3			
	⑤課外活動に対する支援体制は整備されているか	3			
	⑥生徒の生活環境への支援は行われているか	3			
	⑦保護者と適切に連携しているか	3			
	⑧卒業生への支援体制はあるか	3			
	⑨社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	3			
	⑩高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	3			
教育 環境	①施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	2	学外実習に対する生徒の意識向上。 ・設備が老朽化し、使用不可の機器あり。 ・全体的に暗い(照明)。 ・現代にあった設備が必要。	実習後の振り返りで現実理想の中でどう自分のモチベーションを保っていくか考えさせ、それに対するフォローを職員が意識していく。 ・製パン、和菓子の授業増。	外部講師を招いての講習を増やし、連携を深めていく。
	②学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	3			
	③防災・安全管理に対する体制は整備されているか	3			
学生 募集	①学生募集活動は、適正に行われているか	3	・高学科の定員充足。 ・教育成果を積極的に発信していく。 ・OPCは作って食べるだけになっている。 ・少子化にどう対応していくか。	・高等学校等への情報提供。 ・保護者の立場に立った案内について検討する。 ・在校生がもっと主体となる企画を入れる。	・調理師科(昼間)29名 (夜間)28名 ・パティシエ科25名 ・入学選考は面接官複数体制で公正な選考ができています。
	②学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	3			
	③入学選考は、適正に行われているか	3			
	④学納金は妥当なものとなっているか	3			
財務	①中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	3	中長期計画は平成30年度に策定したが、項目が多すぎるので当該計画を見直す必要がある。	専門学校独自で黒字化するように予算立てをする。	特になし。
	②予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	3			
	③財務について会計監査が適正に行われているか	4			
	④財務情報公開の体制整備はできているか	3			
法令 等の 遵守	①関係法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	3	・自己評価で出た課題の解消に取り組めるシステムの構築不足。 ・自己評価での課題の解決ができていない。	・会議や掲示物等を通じて、全ての職員のコンプライアンスに対する啓発を断続的に図る。 ・会議・研修を通して全職員で取り組み解決する。	特になし。
	②個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	3			
	③自己評価の実施と問題点の改善に努めているか	3			
	④自己評価結果を公開しているか	3			
地域 社会 貢献	①学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	4	・毎年西大島地区のお年寄りに対して両科ともボランティアを行っているが、生徒の意識向上に向けて、話し合いの機会を作る必要がある。 ・メディア、新聞に載せてもらえるようなボランティアが必要。	・ボランティア活動に対する生徒の意識向上に向けて、西大島地区以外にも活動の輪を広げる。 ・近隣以外のボランティアへの参加。	特になし。
	②生徒のボランティア活動を奨励・支援しているか	3			
	③地域に対する公開講座・教育訓練の受託等を積極的に実施しているか	4			